

復旧・復興による事業基盤の拡大

米 穀

〈被害状況〉

- ◎管内の80%が被害
- ◎津波冠水 4,321 ha
- ◎原発被害 5,439 ha

〈対応策〉

- ◎除塩作業
- ◎放射性セシウム抑制対策
- ◎全量全袋検査

	作付面積	集荷数量
22年度	8,502 ha	413,339 俵
23年度	1,690 ha	75,850 俵
24年度	1,884 ha	92,534 俵
25年度	2,123 ha	108,471 俵



園 芸

〈被害状況〉

- ◎津波による畑地流出
- ◎原発事故による放射能汚染と風評被害

〈対応策〉

- ◎放射性物質検査の徹底（検査機器導入）
- ◎パイプハウス導入136戸（198棟）54百万円
- ◎新技術導入（養液栽培・少量土壌培地耕）
- ◎消費拡大運動への取り組み

	畑・樹園地面積	販売高
22年度	415.5 ha	1,891 百万円
23年度	168.8 ha	588 百万円
24年度	173.0 ha	638 百万円
25年度	166.6 ha	777 百万円



畜 産

〈被害状況〉

- ◎避難指示による殺処分や臨時セリ出荷
- ◎飼養頭数の激減
- ◎風評被害

〈対応策〉

- ◎牛の導入支援（1,050頭）79百万円
- ◎消費拡大運動

	畜産農家戸数	畜産飼養頭数	販売高
22年度	364 戸	4,864 頭	1,981 百万円
23年度	105 戸	2,239 頭	1,510 百万円
24年度	95 戸	2,202 頭	936 百万円
25年度	90 戸	2,235 頭	1,067 百万円

